

No. 11 [G9L] 部材長 7850		f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 18)		断面No. 5									
H- 600x 200x11.0x17.0x 13 [FA] F= 235(SS400)		5.9 51.5		Z		0		0		中央		右端									
横補剛数		Lb1 Lb2		Aw		2299434		5456		3925		2299434									
-1		3925 3925		A		13171		13171		6226		5456									
13171		13171																			
LOAD /----- M -----//----- Q -----/				LOAD /----- M -----//----- Q -----/																	
No. 1		左端 中央 右端		左端 右端		No. 2		左端 中央 右端		左端 右端											
1		243.1 8.5 166.1		76.1 -28.2		168.4 5.2 118.6		51.9 -21.2													
組合せNo. 1 [長期]		長期								(参考) たわみ δ		0.03mm δ/L 1/****									
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		243.1		-8.5		105.7		3.4		72.2		σb/fb 0.74		0.51							
Q		76.1		-166.1		13.9		12.2		5.2		τ /fs 0.15		0.06							
C		1.787		1.787		90.5		142.1		141.3		組_MQ 0.58		0.39							
				fb		fs		90.5		判定		OK		OK							
組合せNo. 2 [短期]		長期+積雪																			
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		411.5		-13.7		179.0		5.4		123.8		σb/fb 0.84		0.58							
Q		128.0		-284.7		23.5		20.6		9.1		τ /fs 0.17		0.07							
C		1.785		1.785		213.2		213.2		212.1		組_MQ 0.65		0.44							
				fb		fs		135.7		判定		OK		OK							
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/		/---曲げの設計でのウェブの考慮---/		/---スカルップ---/		/---継手の欠損---/	
圧縮側フランジの拘束														△ 鉛直 水平		左端 継手 中央 右端		左端 右端		フランジ ウェブ	
拘束しない														節点 節点		する する		35 35		-1 -1	
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する							

No. 12 [G9R] 部材長 7850		f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 19)		断面No. 5									
H- 600x 200x11.0x17.0x 13 [FA] F= 235(SS400)		5.9 51.5		Z		0		0		中央		右端									
横補剛数		Lb1 Lb2		Aw		2299434		5456		3925		2299434									
-1		3925 3925		A		13171		13171		6226		5456									
13171		13171																			
LOAD /----- M -----//----- Q -----/				LOAD /----- M -----//----- Q -----/																	
No. 1		左端 中央 右端		左端 右端		No. 2		左端 中央 右端		左端 右端											
1		-166.1 72.7 -114.7		-11.8 59.7		-118.6 49.5 -79.8		-10.0 40.6													
組合せNo. 1 [長期]		長期								(参考) たわみ δ		3.23mm δ/L 1/ 2433									
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		-166.1		-72.7		114.7		σb 72.2		49.9		σb/fb 0.53		0.34							
Q		-11.8		59.7		59.7		τ 2.2		10.9		τ /fs 0.02		0.12							
C		1.348		1.348		2.300		fb 137.4		145.4		組_MQ 0.38		0.29							
				fs		90.5		90.5		判定		OK		OK							
組合せNo. 2 [短期]		長期+積雪																			
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		-284.7		-122.2		194.5		σb 123.8		84.6		σb/fb 0.60		0.39							
Q		-21.8		100.3		100.3		τ 4.0		18.4		τ /fs 0.03		0.14							
C		1.355		1.355		2.300		fb 206.2		218.0		組_MQ 0.44		0.33							
				fs		135.7		135.7		判定		OK		OK							
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/		/---曲げの設計でのウェブの考慮---/		/---スカルップ---/		/---継手の欠損---/	
圧縮側フランジの拘束														△ 鉛直 水平		左端 継手 中央 右端		左端 右端		フランジ ウェブ	
拘束しない														節点 節点		する する		35 35		-1 -1	
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する							

No. 13 [G1L] 部材長 5000		f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 34)		断面No. 3									
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235(SS400)		6.8 79.7		Z		0		0		中央		右端									
横補剛数		Lb1		Aw		7703161		10632		2500		7703161									
0		5000		A		23533		23533		8059594		10632									
23533		23533																			
LOAD /----- M -----//----- Q -----/				LOAD /----- M -----//----- Q -----/																	
No. 1		左端 中央 右端		左端 右端		No. 2		左端 中央 右端		左端 右端											
1		85.5 51.4 175.7		57.2 -47.2		51.3 26.9 105.1		31.3 -31.3													
組合せNo. 1 [長期]		長期								(参考) たわみ δ		0.19mm δ/L 1/26257									
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		85.5		-51.4		11.1		6.4		22.8		σb/fb 0.08		0.16							
Q		57.2		-47.2		5.4		5.0		4.4		τ /fs 0.06		0.05							
C		1.000		1.000		138.3		138.3		138.3		組_MQ 0.09		0.14							
				fb		90.5		90.5		判定		OK		OK							
組合せNo. 2 [短期]		長期+積雪																			
左端 継手		中央 継手		右端		左端 継手		中央 継手		左端 継手		中央 継手		右端							
M		136.8		-78.3		17.8		9.7		36.5		σb/fb 0.09		0.18							
Q		88.5		-78.5		8.3		7.7		7.4		τ /fs 0.06		0.05							
C		1.000		1.000		207.4		207.4		207.4		組_MQ 0.09		0.15							
				fb		135.7		135.7		判定		OK		OK							
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/		/---曲げの設計でのウェブの考慮---/		/---スカルップ---/		/---継手の欠損---/	
圧縮側フランジの拘束														△ 鉛直 水平		左端 継手 中央 右端		左端 右端		フランジ ウェブ	
拘束しない														節点 節点		する する		35 35		-1 -1	
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する							

No. 14 [G1CL] 部材長 5000												f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 35 断面No. 3)	
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]												F= 235 (SS400)		Z		7703161		中央		継手	
横補剛数 0												Lb1 5000		Aw		10632		11472		10632	
												A		23533		23533		23533		23533	
												※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています									
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端						LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端															
1 -175.7 237.6 286.9 27.2 -17.2						2 -105.1 144.3 183.6 15.7 -15.7															
組合せNo. 1 [長期] 長期												(参考) たわみ δ 0.89mm δ/L 1/ 5589									
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -175.7 237.6 -237.6 -286.9 σb 22.8 29.5 37.2 σb/fb 0.16 0.21 0.27																					
Q 27.2 27.2 -17.2 τ 2.6 3.1 τ/fs 0.03 0.03 0.02																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.13 0.18 0.21																					
												判定 OK OK OK									
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																					
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -280.8 381.9 -470.5 σb 36.5 47.4 61.1 σb/fb 0.18 0.23 0.29																					
Q 42.9 42.9 -32.9 τ 4.0 3.7 3.1 τ/fs 0.03 0.03 0.02																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.14 0.19 0.23																					
												判定 OK OK OK									
[計算条件] 共通利用												/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/									
圧縮側フランジの拘束 拘束しない												△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1									
												・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する									

No. 15 [G1CR] 部材長 5000												f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 36 断面No. 3)	
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]												F= 235 (SS400)		Z		7703161		中央		継手	
横補剛数 0												Lb1 5000		Aw		10632		11472		10632	
												A		23533		23533		23533		23533	
												※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています									
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端						LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端															
1 -286.9 173.8 48.2 -42.8 52.8						2 -183.6 105.8 28.0 -31.1 31.1															
組合せNo. 1 [長期] 長期												(参考) たわみ δ 0.65mm δ/L 1/ 7653									
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -286.9 173.8 -173.8 -48.2 σb 37.2 21.6 6.3 σb/fb 0.27 0.16 0.05																					
Q -42.8 52.8 52.8 τ 4.0 4.6 5.0 τ/fs 0.04 0.05 0.05																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.22 0.14 0.07																					
												判定 OK OK OK									
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																					
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -470.5 279.6 -76.2 σb 61.1 34.7 9.9 σb/fb 0.29 0.17 0.05																					
Q -73.9 21.7 83.9 τ 7.0 1.9 7.9 τ/fs 0.05 0.01 0.06																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.24 0.14 0.07																					
												判定 OK OK OK									
[計算条件] 共通利用												/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/									
圧縮側フランジの拘束 拘束しない												△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1									
												・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する									

No. 16 [G1R] 部材長 5000												f/幅厚比/w		算定位置		左端		継手		(FA1 部材No. 37 断面No. 3)	
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]												F= 235 (SS400)		Z		7703161		中央		継手	
横補剛数 0												Lb1 5000		Aw		10632		11472		10632	
												A		23533		23533		23533		23533	
												※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています									
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端						LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端															
1 -48.2 -140.0 -340.6 -72.8 82.8						2 -28.0 -88.8 -205.5 -46.7 46.7															
組合せNo. 1 [長期] 長期												(参考) たわみ δ -0.53mm δ/L 1/ 9374									
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -48.2 140.0 340.6 σb 6.3 17.4 44.2 σb/fb 0.05 0.13 0.32																					
Q -72.8 82.8 82.8 τ 6.8 7.2 7.8 τ/fs 0.08 0.08 0.09																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.08 0.13 0.26																					
												判定 OK OK OK									
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																					
左端 継手 中央 継手 右端												左端 継手 中央 継手 右端									
M -76.2 228.8 546.1 σb 9.9 28.4 70.9 σb/fb 0.05 0.14 0.34																					
Q -119.5 36.1 129.5 τ 11.2 3.1 12.2 τ/fs 0.08 0.02 0.09																					
C 1.000 1.000 1.000 fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.09 0.12 0.28																					
												判定 OK OK OK									
[計算条件] 共通利用												/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/									
圧縮側フランジの拘束 拘束しない												△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1									
												・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する									

No. 17 [G1L] 部材長 4850 BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235 (SS400) f/幅厚比/w 6.8 79.7 横補剛数 0 Lb1 4850 ※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています															
(FA1 部材No. 38 断面No. 3) 左端 継手 中央 継手 右端 算定位置 0 2425 0 Z 7703161 8059594 7703161 Aw 10632 11472 10632 A 23533 23533 23533															
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 左端 中央 右端 左端 右端 1 316.4 -153.9 -3.3 69.4 -59.7 No. 左端 中央 右端 左端 右端 2 191.2 -96.6 -2.0 39.0 -39.0															
組合せNo. 1 [長期] 長期 (参考) たわみ δ -0.55mm δ/L 1/ 8799 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M 316.4 153.9 3.3 σb 41.1 19.1 0.4 σb/fb 0.29 0.14 0.00 Q 69.4 69.4 -59.7 τ 6.5 6.0 5.6 τ /fs 0.07 0.07 0.06 C 1.000 1.000 1.000 fb 139.4 139.4 139.4 組_MQ 0.24 0.13 0.06 fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK															
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M 507.6 250.5 5.3 σb 65.9 31.1 0.7 σb/fb 0.32 0.15 0.00 Q 108.4 108.4 -98.7 τ 10.2 9.4 9.3 τ /fs 0.08 0.07 0.07 C 1.000 1.000 1.000 fb 209.1 209.1 209.1 組_MQ 0.26 0.14 0.07 fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK															
[計算条件] 共通利用 /---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スカルップ---/ /---継手の欠損---/ △鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 拘束しない 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1 ・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する															
No. 18 [G1CL] 部材長 4850 BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235 (SS400) f/幅厚比/w 6.8 79.7 横補剛数 0 Lb1 4850 ※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています															
(FA1 部材No. 39 断面No. 3) 左端 継手 中央 継手 右端 算定位置 0 2425 0 Z 7703161 8059594 7703161 Aw 10632 11472 10632 A 23533 23533 23533															
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 左端 中央 右端 左端 右端 1 3.3 87.1 165.7 39.7 -30.0 No. 左端 中央 右端 左端 右端 2 2.0 54.7 111.5 23.4 -23.4															
組合せNo. 1 [長期] 長期 (参考) たわみ δ 0.31mm δ/L 1/15827 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M 3.3 -87.1 -165.7 σb 0.4 10.8 21.5 σb/fb 0.00 0.08 0.15 Q 39.7 39.7 -30.0 τ 3.7 3.5 2.8 τ /fs 0.04 0.04 0.03 C 1.000 1.000 1.000 fb 139.4 139.4 139.4 組_MQ 0.04 0.08 0.13 fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK															
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M 5.3 -141.8 -277.2 σb 0.7 17.6 36.0 σb/fb 0.00 0.08 0.17 Q 63.1 63.1 -53.4 τ 5.9 5.5 5.0 τ /fs 0.04 0.04 0.04 C 1.000 1.000 1.000 fb 209.1 209.1 209.1 組_MQ 0.04 0.08 0.14 fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK															
[計算条件] 共通利用 /---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スカルップ---/ /---継手の欠損---/ △鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 拘束しない 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1 ・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する															
No. 19 [G1CR] 部材長 4850 BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235 (SS400) f/幅厚比/w 6.8 79.7 横補剛数 0 Lb1 4850 ※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています															
(FA1 部材No. 40 断面No. 3) 左端 継手 中央 継手 右端 算定位置 0 2425 0 Z 7703161 8059594 7703161 Aw 10632 11472 10632 A 23533 23533 23533															
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 左端 中央 右端 左端 右端 1 -165.7 87.1 -3.3 -30.0 39.7 No. 左端 中央 右端 左端 右端 2 -111.5 54.7 -2.0 -23.4 23.4															
組合せNo. 1 [長期] 長期 (参考) たわみ δ 0.31mm δ/L 1/15827 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M -165.7 -87.1 3.3 σb 21.5 10.8 0.4 σb/fb 0.15 0.08 0.00 Q -30.0 39.7 39.7 τ 2.8 3.5 3.7 τ /fs 0.03 0.04 0.04 C 1.000 1.000 1.000 fb 139.4 139.4 139.4 組_MQ 0.13 0.08 0.04 fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK															
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪 左端 継手 中央 継手 右端 左端 継手 中央 継手 右端 M -277.2 -141.8 5.3 σb 36.0 17.6 0.7 σb/fb 0.17 0.08 0.00 Q -53.4 16.3 63.1 τ 5.0 1.4 5.9 τ /fs 0.04 0.01 0.04 C 1.000 1.000 1.000 fb 209.1 209.1 209.1 組_MQ 0.14 0.07 0.04 fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK															
[計算条件] 共通利用 /---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スカルップ---/ /---継手の欠損---/ △鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ 拘束しない 節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1 ・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する															

No. 20 [G1R] 部材長 4850														f/幅厚比/w				算定位置				(FA1 部材No. 41 断面No. 3)					
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]														F= 235 (SS400)				6.8 79.7				左端 継手 中央 継手 右端					
横補剛数 0														Lb1 4850				Z 7703161				2425 8059594 7703161					
														Aw 10632				11472 10632									
														A 23533				23533 23533									
														※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています													
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端							LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端																				
1 3.3 -153.9 -316.4 -59.7 69.4							2 2.0 -96.6 -191.2 -39.0 39.0																				
組合せNo. 1 [長期] 長期														(参考) たわみ δ -0.55mm δ/L 1/ 8799													
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M 3.3 153.9 316.4 σb 0.4 19.1 41.1 σb/fb 0.00 0.14 0.29																											
Q -59.7 69.4 69.4 τ 5.6 6.0 6.5 τ/fs 0.06 0.07 0.07																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 139.4 139.4 139.4 組_MQ 0.06 0.13 0.24																											
														fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK													
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																											
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M 5.3 250.5 507.6 σb 0.7 31.1 65.9 σb/fb 0.00 0.15 0.32																											
Q -98.7 30.4 108.4 τ 9.3 2.6 10.2 τ/fs 0.07 0.02 0.08																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 209.1 209.1 209.1 組_MQ 0.07 0.13 0.26																											
														fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK													
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/													
圧縮側フランジの拘束 拘束しない														△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ													
														節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1													
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する													
No. 21 [G1L] 部材長 5000														f/幅厚比/w				算定位置				(FA1 部材No. 42 断面No. 3)					
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]														F= 235 (SS400)				6.8 79.7				左端 継手 中央 継手 右端					
横補剛数 0														Lb1 5000				Z 7703161				2500 8059594 7703161					
														Aw 10632				11472 10632									
														A 23533				23533 23533									
														※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています													
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端							LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端																				
1 340.6 -140.0 48.2 82.8 -72.8							2 205.5 -88.8 28.0 46.7 -46.7																				
組合せNo. 1 [長期] 長期														(参考) たわみ δ -0.53mm δ/L 1/ 9374													
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M 340.6 140.0 -48.2 σb 44.2 17.4 6.3 σb/fb 0.32 0.13 0.05																											
Q 82.8 82.8 -72.8 τ 7.8 7.2 6.8 τ/fs 0.09 0.08 0.08																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.26 0.13 0.08																											
														fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK													
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																											
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M 546.1 228.8 -76.2 σb 70.9 28.4 9.9 σb/fb 0.34 0.14 0.05																											
Q 129.5 129.5 -119.5 τ 12.2 11.3 11.2 τ/fs 0.09 0.08 0.08																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.28 0.14 0.09																											
														fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK													
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/													
圧縮側フランジの拘束 拘束しない														△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ													
														節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1													
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する													
No. 22 [G1CL] 部材長 5000														f/幅厚比/w				算定位置				(FA1 部材No. 43 断面No. 3)					
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD]														F= 235 (SS400)				6.8 79.7				左端 継手 中央 継手 右端					
横補剛数 0														Lb1 5000				Z 7703161				2500 8059594 7703161					
														Aw 10632				11472 10632									
														A 23533				23533 23533									
														※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています													
LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 1 左端 中央 右端 左端 右端							LOAD /----- M -----//----- Q -----/ No. 2 左端 中央 右端 左端 右端																				
1 -48.2 173.8 286.9 52.8 -42.8							2 -28.0 105.8 183.6 31.1 -31.1																				
組合せNo. 1 [長期] 長期														(参考) たわみ δ 0.65mm δ/L 1/ 7653													
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M -48.2 -173.8 -286.9 σb 6.3 21.6 37.2 σb/fb 0.05 0.16 0.27																											
Q 52.8 52.8 -42.8 τ 5.0 4.6 4.0 τ/fs 0.05 0.05 0.04																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.07 0.14 0.22																											
														fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK													
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪																											
左端 継手 中央 継手 右端														左端 継手 中央 継手 右端													
M -76.2 -279.6 -470.5 σb 9.9 34.7 61.1 σb/fb 0.05 0.17 0.29																											
Q 83.9 83.9 -73.9 τ 7.9 7.3 7.0 τ/fs 0.06 0.05 0.05																											
C 1.000 1.000 1.000 fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.07 0.15 0.24																											
														fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK													
[計算条件] 共通利用														/---応力採用位置---/ /---曲げの設計でのウェブの考慮---/ /---スラップ---/ /---継手の欠損---/													
圧縮側フランジの拘束 拘束しない														△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端 左端 右端 フランジ ウェブ													
														節点 節点 する する する する 35 35 -1 -1													
														・幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する													

No. 23 [G1CR]														
部材長 5000														
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235 (SS400) f/幅厚比/w 6.8 79.7														
算定位置 左端 継手 (FA1 部材No.44 断面No.3 )														
Z 0 7703161 中央 継手 右端 0														
Aw 10632 8059594 11472 10632														
A 23533 23533 23533 23533														
横補剛数 Lb1														
0 5000														
※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています														
LOAD /----- M -----//----- Q -----/														
No. 1 左端 中央 右端 左端 右端														
1 -286.9 237.6 175.7 -17.2 27.2														
LOAD /----- M -----//----- Q -----/														
No. 2 左端 中央 右端 左端 右端														
2 -183.6 144.3 105.1 -15.7 15.7														
組合せNo. 1 [長期] 長期														
左端 継手 中央 継手 右端 (参考) たわみ δ 0.89mm δ/L 1/ 5589														
M -175.7 継手 中央 継手 右端 -175.7 σb 左端 継手 中央 継手 右端 22.8														
Q -17.2 継手 中央 継手 右端 27.2 τ 左端 継手 中央 継手 右端 2.6														
C 1.000 継手 中央 継手 右端 1.000 fb 左端 継手 中央 継手 右端 90.5														
fs 37.2 29.5 2.4 22.8 σb/fb 0.27 0.21 0.16														
τ/fs 1.6 2.4 0.02 0.02 0.03 0.03														
fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.21 0.18 0.13														
fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK														
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪														
左端 継手 中央 継手 右端 (参考) たわみ δ 0.89mm δ/L 1/ 5589														
M -470.5 継手 中央 継手 右端 -280.8 σb 左端 継手 中央 継手 右端 36.5														
Q -32.9 継手 中央 継手 右端 11.5 42.9 τ 左端 継手 中央 継手 右端 4.0														
C 1.000 継手 中央 継手 右端 1.000 fb 左端 継手 中央 継手 右端 207.4														
fs 61.1 47.4 1.0 207.4 σb/fb 0.29 0.23 0.18														
τ/fs 3.1 3.1 0.02 0.02 0.01 0.03														
fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.23 0.19 0.14														
fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK														
[計算条件] 共通利用														
△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端														
節点 節点 する する する する														
幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する														
No. 24 [G1R]														
部材長 5000														
BH-1000x 300x12.0x22.0 [FD] F= 235 (SS400) f/幅厚比/w 6.8 79.7														
算定位置 左端 継手 (FA1 部材No.45 断面No.3 )														
Z 0 7703161 中央 継手 右端 0														
Aw 10632 8059594 11472 10632														
A 23533 23533 23533 23533														
横補剛数 Lb1														
0 5000														
※ 鋼構造設計規準 (2002年SI単位版) の幅厚比規程値を超えています														
LOAD /----- M -----//----- Q -----/														
No. 1 左端 中央 右端 左端 右端														
1 -175.7 51.4 -85.5 -47.2 57.2														
LOAD /----- M -----//----- Q -----/														
No. 2 左端 中央 右端 左端 右端														
2 -105.1 26.9 -51.3 -31.3 31.3														
組合せNo. 1 [長期] 長期														
左端 継手 中央 継手 右端 (参考) たわみ δ 0.19mm δ/L 1/26257														
M -175.7 継手 中央 継手 右端 85.5 σb 左端 継手 中央 継手 右端 11.1														
Q -47.2 継手 中央 継手 右端 57.2 τ 左端 継手 中央 継手 右端 5.4														
C 1.000 継手 中央 継手 右端 1.000 fb 左端 継手 中央 継手 右端 90.5														
fs 22.8 6.4 5.0 11.1 σb/fb 0.16 0.05 0.08														
τ/fs 4.4 5.0 0.05 0.05 0.06 0.06														
fb 138.3 138.3 138.3 組_MQ 0.14 0.07 0.09														
fs 90.5 90.5 90.5 判定 OK OK OK														
組合せNo. 2 [短期] 長期+積雪														
左端 継手 中央 継手 右端 (参考) たわみ δ 0.19mm δ/L 1/26257														
M -280.8 継手 中央 継手 右端 136.8 σb 左端 継手 中央 継手 右端 17.8														
Q -78.5 継手 中央 継手 右端 25.9 88.5 τ 左端 継手 中央 継手 右端 8.3														
C 1.000 継手 中央 継手 右端 1.000 fb 左端 継手 中央 継手 右端 207.4														
fs 36.5 9.7 2.3 17.8 σb/fb 0.18 0.05 0.09														
τ/fs 7.4 7.4 0.02 0.02 0.02 0.02														
fb 207.4 207.4 207.4 組_MQ 0.15 0.04 0.06														
fs 135.7 135.7 135.7 判定 OK OK OK														
[計算条件] 共通利用														
△鉛直 水平 左端 継手 中央 右端														
節点 節点 する する する する														
幅厚比による部材ランク (種別) は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」により判定する														



# 検査仕様

## 1. 調査概要

調査物件名	伊勢崎地方卸売市場				
調査年月日	平成30年10月24日～平成30年10				
調査機関	[REDACTED]				
調査方法	外観検査：抜き取り検査・任意 超音波探傷検査：抜き取り検査・任意				
調査員	[REDACTED]	検査資格	登録No.	検査資格	登録No.
		NDI-UTレベル#3	N10097441	建築鉄骨UT	US-02750

## 2. 使用機器及び探傷条件

### 2-1 外観検査測定器

金属製直尺	ノギス	コンパックスルール	隙間ゲージ	溶接用ゲージ
モンキーレンチ	ハンマー	限界ゲージ	—	—

### 2-2 超音波探傷器・探触子

#### ・探傷器

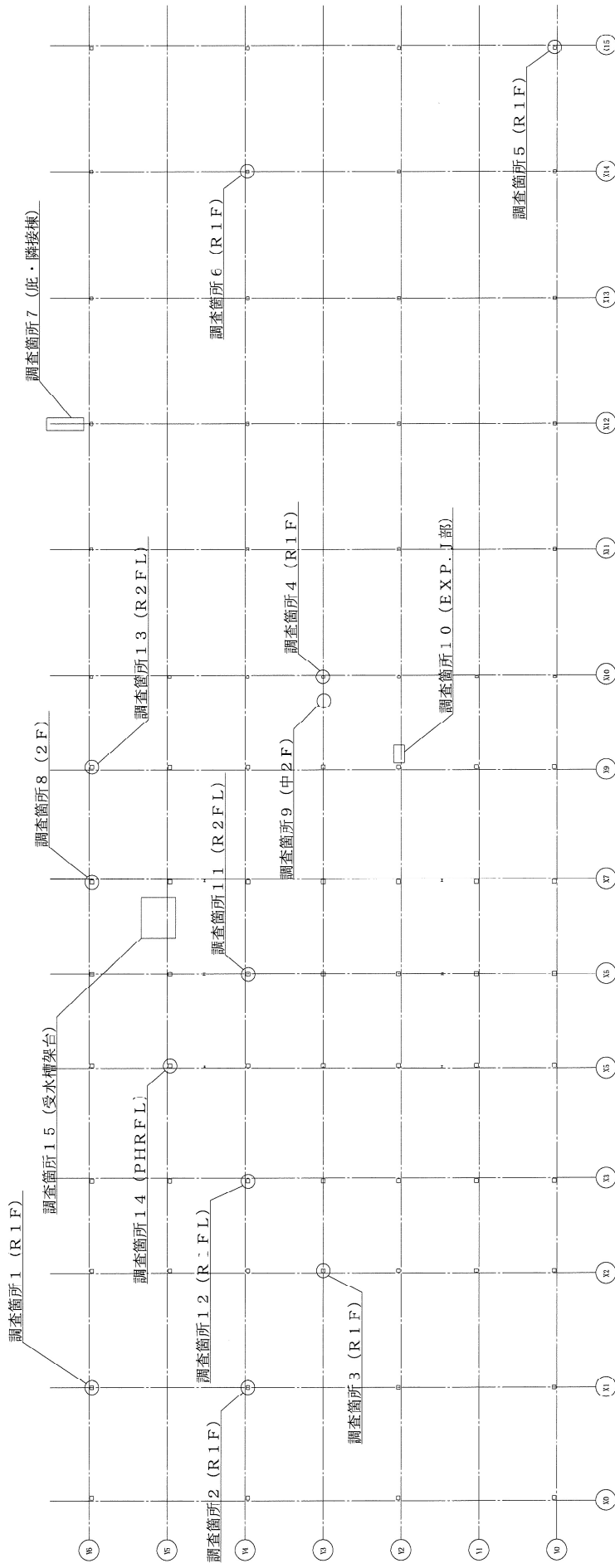
#### ・探触子

名称	USM35XRB	名称	5C10×10A70
製造社名	GEインスペクション	製造社名	[REDACTED]
製造番号	5799a	製造番号	XA12010
点検年月日	+0.9, -0.1	不感帯距離	0.0mm
点検責任者	0.0, 0.0	STB屈折角	70.0度
増幅直線性	平成30年1月5日	点検年月日	検査日毎
時間軸直線性	[REDACTED]	点検責任者	[REDACTED]

### 2-3 探傷条件

適用規格	日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準・同解説」(2008)
合否判定	「引張応力が作用する溶接部」
使用試験片	STB-A1, STB-A2, STB-A3
探傷感度	STB-A2 φ4×4 (0.5スキップ・80%・H線)
検出レベル	L検出レベル
接触媒質	グリセリン(75%以上)
感度補正量	0dB
探傷面の状態	スパッター・ペンキ除去

3. 調査位置



\* 上記位置にて調査いたしました。





4. 状況写真（調査箇所1）

梁サイズ測定状況



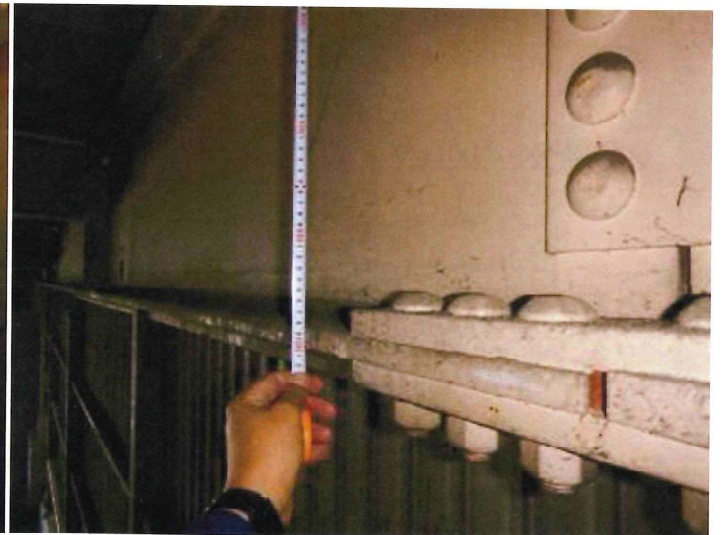
ボルトピッチ測定状況



ボルト径測定状況



梁サイズ測定状況



ボルト径測定状況



屋根ブレースサイズ測定状況

